



学校だより

まきのき

令和 6年 8月 9日

No. 6

発行：長与町立長与小学校
校長 片岡 智子

長崎原爆の日に。

1945年（昭和20年）8月9日の原爆投下から、79年の歳月がたちました。原爆によるすさまじい爆風と熱線、放射線は街に甚大な被害をもたらし、約7万4千人の尊い命が奪われました。放射線による病気で今でも苦しんでいる人がいることは皆様も御存知のことと思います。



今年も長与小では、平和学習を行い、平和への祈りを込めて鶴を折りました。御家庭で一緒に折っていただいた学年もありました。御協力ありがとうございました。5年生は、7月に平和ウォークへ出掛け、平和案内人の方と被爆遺構を巡ったり、原爆資料館を見学したりしました。7月17日には、「被爆体験を語り継ぐ永遠の会」の原尾さん、辻さんをお招きし、1～3年生の部、4～6年生の部に分かれて「被爆体験朗読会」を行いました。原爆が投下されたときの長崎の様子や戦時中の子供たちの状況、当時の長与町で起こったことなどを写真や図で分かりやすく紹介していただきました。「永遠の会」で活動をされている方々は長崎県内だけではなく、九州各県や遠くは北海道の学校からの依頼に応じ、朗読会を行ってられるそうです。

今日8月9日は、全校登校日として、「平和を祈る集会」（熱中症対策のため校長室からのリモート）を行い、5年生が行った平和学習の発表を動画で視聴したり、平和を祈る歌「花でかざって」を歌ったりしました。そして11時2分には、原爆で亡くなった方々の御冥福を祈り、全校で黙祷をしました。

私たちは、平和の大切さを願い、二度と戦争を起ささない、核兵器による犠牲者を出してはならないという思いを持ち続けなければなりません。現在も世界の各地で戦争や紛争が行われており、多くの尊い命が失われています。先日もガザ地区の学校が空爆を受けたという報道がありましたが、私たちには安心して家庭でくつろいだり、子供たちが学校で学んだりすることができる生活があります。この平和な環境を守るためには、決して戦争を「是」とする世の中にしてはなりません。

学校では、子供同士のよりよい人間関係の構築、互いを認め合うことや支え合うことも平和教育の一環とし、全ての教育活動で推進していきます。御家庭でもぜひ平和の大切さについてお話をされるとともに、家族や友達など身近な人への関わり方などの御助言をお願いします。

<安全第一、健康第一>

毎日本当に暑いですね。今後も厳しい残暑が続くようです。外出時には、帽子や日傘の利用、こまめな水分補給といった熱中症対策に十分留意してください。水の事故や交通事故、不審者、台風や豪雨などの自然災害等、現代社会は多くの危険と隣り合わせです。子供たちには「自分の命は自分で守る」意識をもつことを繰り返し指導しております。御家庭でも重ねて御指導くださいますようお願いいたします。



明日8月10日（土）～18日（日）は、学校閉庁日です。この期間の緊急の連絡は、長与町役場（長与町教育委員会 TEL883-1111）へお願いします。

3年生以上は、A Iドリルへの取組等のため、タブレットを自宅に持ち帰っています。子供たちには、学習以外の使用は決して行わないよう学校でも指導しています。御家庭におかれましても、目的外の使用をしないようお声掛けと見守りをお願いいたします。